

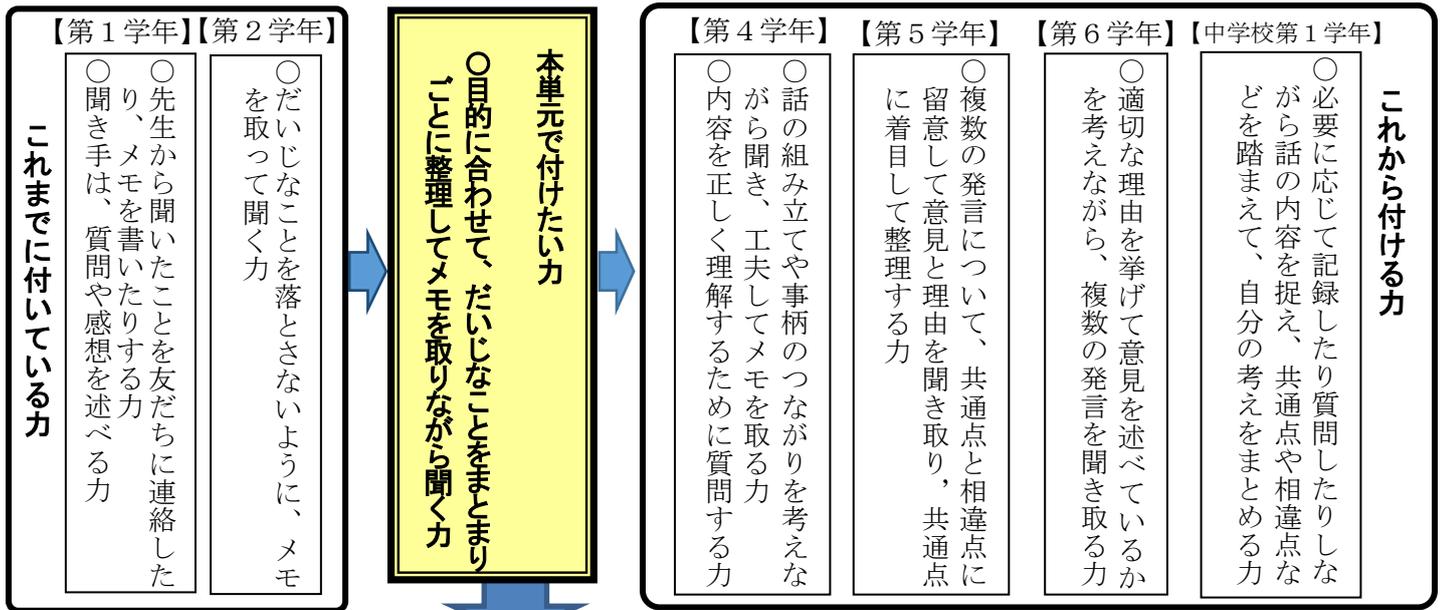
第3学年 国語科学習指導案

授業者：正岡 瞳（3年2組）

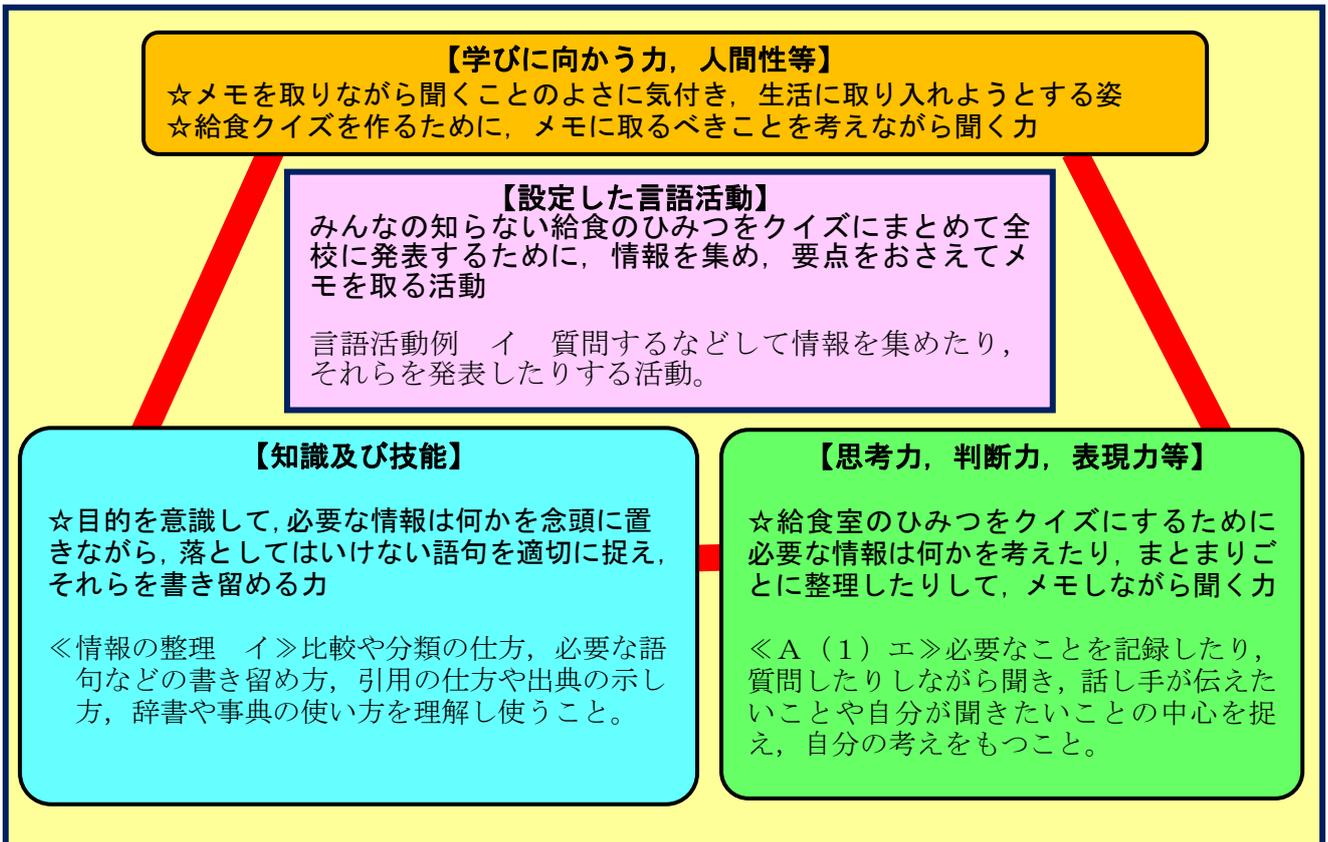
【2019年度 研究テーマ】 学びに熱中する子どもの育成
 —「見方・考え方」を働かせて、学びを深める国語科授業づくり—

- 1 単元名 給食のひみつをさがれ！わたしたち給食探偵団！！
 教材名 インタビューしてメモを取ろう（東京書籍 3年上）

2 単元の系統性 A 話すこと・聞くこと（聞くこと）



3 本単元で付けたい【資質・能力】と設定した言語活動



4 単元について

(1) 児童の実態

本校独自に実施している国語アンケートでは、「国語の授業が楽しい」と答えている児童が大半であった。また、「あなたは、先生や友だちのお話を体を向けて『聞く』ことができますか。」の質問には、全員ができていますと答えていた。実際、話し手の顔を見てうなずきながら聞くことや、話に合った感想や質問をすることなどは少しずつできるようになっている。しかし、メモを取りながら話を聞くという経験は非常に少なく、CRTの聞くテストやオーテピア見学では、何をメモすればよいのかが分からず、全くメモを取れていない児童もいた。

(2) 教材の特性

本教材は、「話すこと・聞くこと」の「聞く」系統の単元である。教科書教材や自作教材のインタビューの場面で、話を聞く活動に取り組み、目的を意識してメモを取りながら聞く力を身に付けることを目指す。本単元で扱う教材は、話す内容がいくつあるのかを述べてから、一文目に答え、二文目以降に補足情報（豆知識）という構成でできている。そのため、まとまりごとにメモが取りやすく、取ったメモを生かして、答えと豆知識を紹介するクイズ作りに適している。この教材を通して、目的に合わせてどのような情報をメモすればよいのか、どのように整理したらよいのかを学ぶことで他教科でも活用できる資質・能力を育成できると考える。

(3) 指導の文脈

栄養教諭からの「全校のみんなに給食をもっと好きになってもらうために協力をして欲しい」という依頼に対し、給食のひみつクイズを作って「ひがしっこ集会」で発信し、給食のことをもっと知ってもらおうという学習活動を取り入れる。そのためにインタビューをして情報を集め、要点をおさえてメモを取るという言語活動を設定した。

一次では、栄養教諭からの依頼を聞き、給食のひみつを調べてクイズで発信するという学習課題を確認する。その際、一度、クイズを作らせてみることで、給食について知っている情報の少なさに気付かせる。給食のひみつを伝えるためには、栄養教諭にインタビューをし、給食クイズを作るという目的に合ったメモを取っておくことが必要であることを自覚させる。そして、どのようなことが分かれば解決できそうなのか見通しをもたせる。

二次では、デジタル教科書の音声データやメモ例をもとに、どのようにメモを取れば事後に活用しやすくなるのかを考えながら聞き取る練習をさせる。その際、メモすべき要点は何なのかということ、一つ目は、二つ目は、などの順序を表す言葉を手掛かりに、まとまりごとに整理しながらメモを取るとよいことを共有することで、聞き取る力を高めていく。また、給食をもっと好きになってもらうためには、クイズの答えに豆知識を付け足し、全校のみんなに「こんなひみつがあったのか」と興味をもってもらう必要があることに気付かせる。そして、よりよい給食クイズを作るためにクイズに付け足す給食豆知識に使えるような事柄を、自分たちで見つけたメモのポイントを使って、インタビューの内容からメモを取ることを目指す。

三次では、二次での学びを振り返りながら、自分のメモを取る力の成長をメタ認知させるとともに、学習貯金したい内容を精査し共有する。インタビューの仕方や、メモを取るポイントは、今後の総合的な学習の時間などの際に活用できることも確認し、活用の幅を広げさせたい。

なお、本単元は、総合的な学習の時間と教科・領域を合わせた指導を行う。国語科では、大事なことを落とさず聞き取るために、話のまとまりに気を付けて要点をメモに取りながら聞く学習を行い、インタビューのマナーや給食のひみつクイズ、豆知識を作ることなどは、総合的な学習の時間に行うものとする。

5 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標 目的に合わせて話の内容を正しく聞き取るために、話のまとまりに気を付けて、要点をメモに取りながら聞くことができる。

(2) 単元の評価規準

【知識・技能】	【思考・判断・表現】 《話すこと・聞くこと》	【主体的に学習に取り組む態度】
○給食のひみつクイズを作るために必要な情報は何かを考え、箇条書きやナンバリングなど、メモのわざを使い、必要な語句を適切に捉えて書き留めている。 《(2)イ 情報の整理》	○給食のひみつクイズを作るために必要な情報は何かを考えながら聞いたり、まとまりに気を付けて要点をメモに取りながら聞いたりしている。 《A(1)エ 構造と内容の把握》	○目的に合わせて、まとまりに気を付けてメモを取ったり、メモするポイントを使って要点をおさえてメモを取ったりして、生活に生かそうとしている。

(3) 単元の学習内容と評価規準 (全5時間)

次	学習内容	知・技	思判表	態度	評価規準 【評価方法】
	児：見方・考え方を成長させる姿				
一 次	第1時 ・栄養教諭の依頼に応え、クイズで給食のひみつを発信するという学習の見通しをもち、教科書教材でメモの練習をしたり、自分たちの課題とその解決のための見通しをつかんだりする。 児：給食のひみつクイズを作るために、インタビューの聞き方やメモの取り方を勉強したいな。	○			○給食に関する情報を集めるためには、インタビューしたことをメモに取る必要があることを理解している。 【発言・ノート】 (2) 情報の整理
	第2時 ・メモするポイントやわざをつかむ。 児：話のまとめりごとに整理したり、箇条書きにしたり、番号を付けたらメモが取りやすくなったよ。番号があると、見返した時に分かりやすいね。	○			○給食のひみつクイズを作るために必要な情報は何かを考え、話のまとめりに気を付けて聞き、メモに整理している。 【ノート】 (2) 情報の整理
	第3時(本時) ・給食豆知識を作るために、メモするポイントをさらに見つける。 児：メモに取るものと取らないもののがいが分かったぞ。これで、給食豆知識が作れそうだ。		○		○給食豆知識を作るために必要な情報は何かを考えながら聞き、学習したメモのポイントを使って豆知識に必要な情報をメモに取っている。 【ノート】 A (1) エ 聞くこと 構造と内容の把握
	第4時 ・メモするポイントを使って、別のインタビューの答えを聞き取る。 児：まとめりに気を付けること、豆知識を箇条書きでメモに取ること、両方のわざが使えたぞ！			○	○まとめりに気を付けて聞き、豆知識に使える情報を箇条書きでメモに取っている。 【ノート】 A (1) エ 聞くこと 構造と内容の把握
二 次	総合：インタビューのマナーって？質問も考えたいな。				
	総合：クイズだけでなく、給食豆知識もあるといいな！				
三 次	総合：メモを使って、もっとたくさんクイズが作れないかな？				
	総合：メモを使って、新しいクイズを作ろう！				
三 次	ひがしっ子集会で給食クイズを出そう！				
	第5時 ・インタビューやメモを取るポイントを学級で話し合いながら、学習貯金を作る。 児：インタビューの仕方やメモのわざは別の授業や生活、社会見学でも役立ちそうだ。			○	○目的に合わせて、まとめりに気を付けてメモを取ったり、メモするポイントを使って要点をおさえてメモを取ったりして、生活に生かそうとしている。 【発言・ノート】 主体的に学習に取り組む態度

設定した言語活動

みんなの知らない給食のひみつをクイズにまとめて全校に発表するために、情報を集め、要点をおさえてメモを取る活動

付けたい力

目的に合わせて、だいたいなことをまとめりと整理してメモを取りながら聞く力

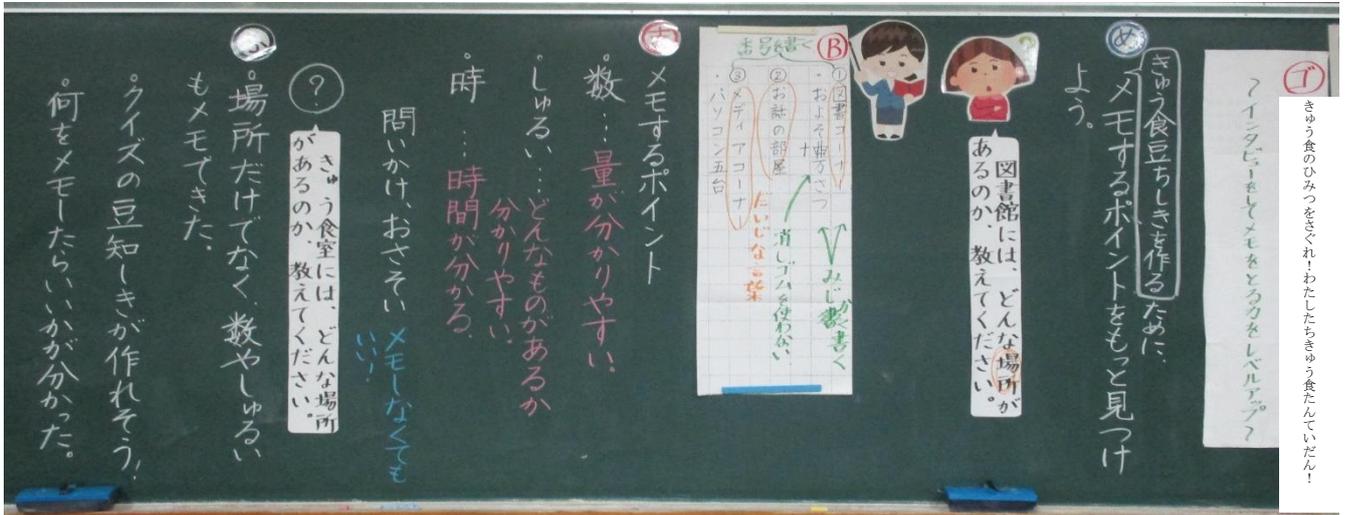
【単元のゴールの活用】

- 大事なことを落とさずにメモに整理しながら聞くこと。
- インタビューをするときには、相手に了解を得てから質問したり、丁寧な言葉遣いで話したりすること。

6 本時の学習

- (1) 目標 メモに取るべきものは何かを考えながら聞き、必要な情報をメモに取ることができる。
- (2) 問うべき問い 「メモに取るものと、取らないものとのちがいは何？」
- (3) 評価規準 ○ 給食豆知識を作るために必要な情報は何かを考えながら聞き、学習したメモのポイントを使って、豆知識に必要な情報をメモに取っている。

【ノート】A (1) エ 聞くこと 構造と内容の把握



学習活動

★評価規準

1 前時の振り返りをする。

- 前時に見つけたメモのポイントを確認させる。

2 課題をつかむ。

給食豆知識を作るために、メモするポイントをもつと見つけよう。

3 前時に取った自分のメモをレベルアップする。(教科書教材)

- デジタル教材のモデル文を聞き、メモに付け加えさせる。
- 似たようなことをメモしたか確認する。

メモのポイント

- ・ 数
- ・ 種類
- ・ 時

× 問いかけ、おさそい

問うべき問い「メモに取るものと取らないものとのちがいは何？」

- 考えを全体で共有する。

共有したい考え

- ・ 豆知識として使えるもの（数、種類、時）は、メモする。
- ・ 豆知識として使えないもの（問いかけ、おさそい）はメモしない。
- メモするポイントをまとめさせる。

★給食豆知識を作るために必要な情報は何かを考えながら聞き、学習したメモのポイントを使って、豆知識に必要な情報をメモに取っている。【ノート】

4 今日の学びをもとに、「給食室」についてのインタビュー（自作教材）の答えのメモをレベルアップする。

- クイズに使えるようなポイントを使って、メモを取らせる。
- 取ったメモをペアで交流し、相互評価させる。
- 今日のこのメモが豆知識作成の解決につながりそうか、確認する。

5 振り返りをする。

- 昨日のメモと今日のメモを比較させ、レベルアップしたところをメタ認知させる。

◎本時の学習で国語的な見方・考え方を働かせている姿とは？

児童が、メモのレベルアップを図る上で、言葉と言葉（質問と答え、答えと豆知識）を関連付けながら捉えること【見方】で、メモに取るものと取らないものとの違いを考えてメモを取ったり、メモを取るポイントが使えているかを友達と確認したりする【考え方】姿である。